

## ＜報告事項＞ 令和5年度事業報告

### 令和5年度事業報告書

東京から排出される膨大な産業廃棄物の適正処理及び資源循環を推進していくためには、排出事業者、処理業者、都民、行政が、それぞれの責任と役割を踏まえ、連携・協働した取組を具体的に進めていくことが必要である。

令和5年度、協会は東京都との緊密な関係の下に、脱炭素の取組を踏まえた資源循環に取り組む。また、会員における、労働災害防止の徹底、人材の確保・定着、デジタルトランスフォーメーションを進めている。

引き続き、会員サービスの改善などに努め、会員増強に努めた。

以下、主な活動を報告する。

#### 1. 適正処理・資源循環推進事業

##### (1) 調査研究事業

###### 1) 調査研究

法令改正や、資源循環産業の一翼を担う産業廃棄物処理業界の社会的役割等も十分踏まえながら、適正処理の推進と循環型社会・脱炭素社会・デジタル社会の進展に向けた調査研究を行い、東京都などに対し提案・要望を行った。

- ・東京都のパブリックコメント、東京都災害廃棄物処理計画の改定について（中間のまとめ）に対して意見を提出した（6月29日）。
- ・令和6年度東京都予算要望について、都議会各政党に要望活動を行った（8月及び9月）。東京都知事への要望活動を行った（12月8日）。
- ・（公社）全国産業資源循環連合会からの受託事業

2050年温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）に向けて、排出事業者における脱炭素の取組調査を実施した（9月1日）。スコープ3の取組等について、10月に150社にアンケート調査、11月～1月に10社にヒアリング調査を行った。2月に（公社）全国産業資源循環連合会に調査結果を提出した。

###### 2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんばい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

都内中小企業にリチウムイオン電池排出時の注意を呼びかけるため、東商

新聞11月20日号に注意喚起の記事を掲載していただいた。

## (2) 研修事業

### 1) 一般研修事業

#### ① 建設廃棄物・四団体合同施設見学会・意見交換会

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

参加団体：(一社)東京建設業協会、(一社)東京建物解体協会、(一社)東京都中小建設業協会、(一社)東京都産業資源循環協会 建設廃棄物委員会

期 日：令和5年10月26日 32名

見学先：株式会社レゾナック川崎事業所

意見交換相手：東京都環境局

内容：「プラスチック資源循環法に対する東京都庁の今後の進め方」  
「解体工事に対する東京都庁の立入指導の強化」  
「建設汚泥処理土の官民での有効利用」  
「再生骨材の利用促進」

#### ② 医療廃棄物適正処理研修会

研修会の開催に代えて、東京都医師会のホームページ上に関係団体から提供される資料を一定期間掲載することになり、医療廃棄物委員会で資料を作成し提供した(資料掲載期間：令和6年3月1日～3月31日)。

〔本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催〕

#### ③ 都立職業能力開発センターへの講師の派遣

都立職業能力開発センター(江戸川校・介護サービス科)からの依頼を受け、「産業廃棄物の処理・3R・脱炭素」と題した講義を行うため、事務局長を講師として派遣した(6月15日、12月22日)。

### 2) 講習会事業(許可申請等に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力し、多くはWeb申込によるオンライン学習の後、会場で試験を受ける方法で実施した。なお、(対面)とあるのは、会場で講義・試験を行う方法で実施した。

#### ① 新規許可申請講習会 1,079名

##### ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

令和5年	5月	1回	開催	73名
令和5年	6月	2回	開催	126名

令和5年 9月	1回	開催	72名
令和5年10月	2回	開催	130名
令和5年11月	1回	開催	72名
令和5年12月	1回	開催	70名
令和6年 1月	1回	開催(対面)	61名
令和6年 2月	3回	開催	213名
令和6年 3月	1回	開催	67名

イ 産業廃棄物の処分課程

令和5年 9月	1回	開催	67名
令和6年 1月	1回	開催	50名

ウ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和6年 2月	1回	開催	78名
---------	----	----	-----

エ 特別管理産業廃棄物の処分課程

～開催なし～

② 更新許可申請講習会

1, 616名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

令和5年 4月	3回	開催	213名
令和5年 5月	2回	開催	144名
令和5年 6月	3回	開催	209名
令和5年 7月	1回	開催	63名
令和5年 9月	1回	開催	71名
令和5年 9月	1回	開催(対面)	63名
令和5年10月	2回	開催	150名
令和5年11月	1回	開催	72名
令和5年11月	1回	開催(対面)	63名
令和5年12月	1回	開催	77名
令和6年 1月	1回	開催	60名
令和6年 2月	3回	開催	238名
令和6年 3月	1回	開催	73名

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

令和5年 5月	1回	開催	46名
令和6年 2月	1回	開催	74名

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

2, 477名

令和5年 4月	3回	開催	204名
令和5年 5月	4回	開催	274名
令和5年 6月	5回	開催	278名
令和5年 7月	3回	開催	168名
令和5年 9月	3回	開催	225名
令和5年 9月	1回	開催(対面)	63名
令和5年10月	4回	開催	302名
令和5年11月	2回	開催	150名
令和5年11月	1回	開催(対面)	62名
令和5年12月	3回	開催	149名
令和6年 1月	2回	開催	118名

令和6年	1月	1回	開催(対面)	61名
令和6年	2月	4回	開催	264名
令和6年	3月	2回	開催	159名

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会（医療関係機関等対象） 165名

令和5年	12月	1回	開催	60名
令和6年	1月	1回	開催	66名
令和6年	3月	1回	開催	39名

⑤ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 77名

令和6年	1月	1回	開催	50名
令和6年	3月	1回	開催	27名

(3) 相談指導事業

会員その他業界関係者、一般企業や都民からの産業廃棄物の処理業者の紹介、斡旋に関する協会への問い合わせに的確に対応した。

令和5年度の相談実績

2,689 件の内訳

I. 問合せ者の内訳		II. 紹介先の内訳		
内 訳	件数	内 訳	件数	
① 産廃処理業関係	156	① 会員を紹介	2,041	
排出事業者	② 建設業関係	94	② 各自治体 (清掃事務所等)	180
	③ 行政関係 (区市町村)	73	③ 粗大ごみ受付センター 家電リサイクル受付センター	29
	④ 医療機関	155	④ リサイクル関連団体	12
	⑤ 一般都民	1,039	⑤ 東京都(法律相談等)	158
	⑥ その他	1,172	⑥ JWセンター	153
		⑦ 飛沫防止パーテーションのリサイクル	48	
		⑧ その他	68	

2. 環境対策事業

(1) 環境活動

なし

(2) 環境対策事業

新型コロナウイルス感染症対策への当協会の協力に対して、6月吉日付けの小池東京知事の感謝状が贈呈された。

### (3) 災害廃棄物対策事業

全国産業資源循環連合会関東地域協議会では、「災害時における災害廃棄物の処理等に係る相互応援に関する協定」を締結した（6月30日）。

協会における災害廃棄物処理に関する支援体制及び支援計画等について検討するため、「災害廃棄物委員会」を令和6年4月から設置することとした（3月理事会決定）。

## 3. 普及事業

### (1) 普及事業

#### 1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

#### 2) 図書等の有償頒布

##### 有償頒布図書

(4月～3月)

建設廃棄物処理委託契約書	1,255部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	94部

#### 3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、(公社)全国産業資源循環連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）」〔(公社)全国産業資源循環連合会 発行〕の販売を行った。

##### 産業廃棄物管理票普及実績

(4月～3月)

種類		単票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	113,800セット	102,000セット	215,800セット
	積替用	17,100セット	22,500セット	39,600セット
建設系廃棄物		235,200セット	226,500セット	461,700セット
合計				717,100セット*

\*対前年度比 87%

##### 電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

(4月～3月)

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）	18,400セット
--------------------------	-----------

## (2) 機関誌の発行事業

協会における基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんぱい」は第392号から第403号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業資源循環連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

### <主な記事>

- ① 第392号 令和5年度 東京都予算決まる
- ② 第393号 就任のご挨拶 東京都環境局 関係職員
- ③ 第394号 [第11回定時総会]  
令和4年度事業報告・決算報告(概要)
- ④ 第395号 就任のご挨拶 当協会専務理事
- ⑤ 第396号 [全国産業廃棄物資源循環連合会]  
関東地域協議会が災害廃棄物処理の相互応援協定を締結
- ⑥ 第397号 令和6年度 東京都予算で要望活動
- ⑦ 第398号 [医療廃棄物委員会]  
令和5年度一都二県医療廃棄物合同懇談会の開催
- ⑧ 第399号 2023年度 国内処理施設見学研修会  
株ショーモン「ミッションランド」を見学
- ⑨ 第400号 機関誌発行第400号に寄せて 会長 鈴木 宏和
- ⑩ 第401号 新年のご挨拶 会長/東京都環境局長
- ⑪ 第402号 賀詞交歓会・表彰式を開催
- ⑫ 第403号 令和6年度事業計画および予算決まる

## (3) 会員事業

### 1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施する。

#### ① 国内処理施設見学研修会 28名

期 日 : 令和5年10月13日 ~ 14日  
見学先 : 株ショーモン(埼玉県)

#### ② 安全衛生研修会

[安全衛生推進委員会 主催]

期 日 : 令和6年2月9日 67名  
内 容 : 東京都環境局講話 「安全管理の留意点」  
東京労働局講演  
「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について」  
トヨタ自動車株式会社講演  
「トヨタが提供する土間選別の現場DX紹介  
～安全/効率/魅力的な現場～」

講 師 : 東京都環境局 資源循環推進部 産業廃棄物対策課  
東京労働局 労働基準部 安全課  
トヨタ自動車株式会社  
場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)

### ③ 産業廃棄物収集運搬業のための採用設計セミナー

[収集運搬委員会主催]

期 日 : 令和5年5月17日 47名  
内 容 : ドライバーや作業員の人材不足解消に向けた  
応募者に届く採用活動のための実践的採用設計手法習得研修  
講 師 : 株式会社L I G O  
場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)

### ④ 企業の交通リスクセミナー <<経営者・管理者向け>>

[収集運搬委員会主催]

期 日 : 令和5年6月23日 44名  
内 容 : 事故再発防止のための面談スキルアップ研修  
講 師 : 東京海上ディーアール株式会社  
場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)

### ⑤ 企業の交通リスクセミナー <<実務担当者・ドライバー向け>>

[収集運搬委員会主催]

期 日 : 令和5年7月28日 39名  
内 容 : 安全運転習慣研修  
講 師 : 東京海上ディーアール株式会社  
場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)

### ⑥ LCA 勉強会

[中間処理委員会主催]

期 日 : 令和5年9月27日 54名  
内 容 : LCA  
講 師 : 東京農工大学名誉教授  
場 所 : 協会会議室及びオンライン

### ⑦ プラスチック資源循環に関する国内外の取り組み研修会

[中間処理委員会主催]

期 日 : 令和6年2月7日 44名  
内 容 : プラスチック資源循環に関する国内外の取り組み  
講 師 : レコテック株式会社  
場 所 : エッサム神田ホール2号館 (千代田区)

### ⑧ AI ロボット勉強会

[中間処理委員会 破碎・圧縮分科会主催]

期 日 : 令和5年6月27日 28名

内 容 : AI を搭載した廃棄物選別ロボット開発の現状  
 講 師 : 株式会社リョーシン。近畿工業株式会社。株式会社御池鐵工所  
 場 所 : 協会会議室及びオンライン

### ⑨ DXに関する勉強会

〔中間処理委員会 破碎・圧縮分科会主催〕

期 日 : 令和5年11月9日 27名  
 内 容 : 「配車頭」のサービスご案内とDXを成功させるための秘訣  
 委託契約書の電子化で業界のDX化をスピードアップ  
 講 師 : ファンファーレ株式会社。トライシクル株式会社  
 場 所 : 協会会議室及びオンライン

### ⑩ 労働安全衛生法の新たな化学物質規制の対応セミナー

〔中間処理委員会 中和・脱水分科会主催〕

期 日 : 令和6年2月28日 25名  
 内 容 : 労働安全衛生法の新たな化学物質規制の対応とリスクアセスメントについて  
 講 師 : 株式会社テクノヒル  
 場 所 : 協会会議室及びオンライン

## 2) 会員交流・増強事業

- ① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会（5月25日）及び賀詞交歓会（1月26日）を開催した。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部が諸活動を積極的に行った。
- ② 会員数の維持・増加を図るため、入会希望者に対して丁寧な説明を行うなど、あらゆる機会を活用して会員数の維持・増加に努めた。
- また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を開催した（6月21日、11月8日）。

### 会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛助会員	計
令和4年度末 会員数	536	77	613
令和5年4月1日会員数	536	72	608
令和5年度入会者数	12	10	22
〃 退会者数	12	4	16
令和6年3月末日会員数	536	79	615
令和6年4月1日会員数	535	77	612

- ③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業資源循環連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

全産連等が主催する産業廃棄物と環境を考える全国大会が11月10日に東



京で開催され、協会会員も参加した。

### 3) 顕彰・表彰事業

令和5年度は、『功労者表彰』2名、『優良事業所表彰』4社、『優良従事者表彰』3名、『感謝状』1名、『安全衛生表彰』1名を表彰した。

### 4) 人材の確保に向けた採用支援

#### ① 人材確保プロジェクト

4月27日にプロジェクト会議を開催し、令和5年度の活動計画を決定した。8月30日の会議では、会員企業の若手社員を対象とした研修会について検討し、10月27日、東京スーパーエコタウン（大田区城南島）において「若手社員のためのスーパーエコタウン研修会」（講演、施設見学及びグループディスカッション）を実施した。参加者：39名

2月13日のプロジェクト会議では、令和6年度の活動について検討した。

#### ② 「業界別人材確保オーダーメイド型支援事業」（(公財)東京しごと財団）

本事業は、令和4～5年度の2か年事業である。本事業は、業界が抱える人材確保の課題を理解し、会員企業の課題に応じたセミナー・コンサルティング・業界PRツールの作成を組み合わせたオーダーメイド型支援を提供する。

令和5年度は、セミナー2回・各企業でのコンサルティング5回（令和4年度との合計）・業界PR動画の作成・取組事例集の作成を行った。参加企業は10社である。

セミナー「面談シートに沿って話すだけ 「離職」が「やる気」に変わる面談セミナー」を6月29日、「適材を惹きつける+採用を定着と結びつける 人材不足業界に有効な採用手法」を7月13日に開催した。（この2回のセミナーは参加企業以外も聴講可能で、会員企業にもオンライン参加を案内した。）

会員が採用時に使用できる業界PR動画及び取組事例集を、協会HPより閲覧できるようにした。

取組事例集はすべての正会員に配付した。

## 4. 管 理 運 営

### (1) 総 会 （1回）

第11回定時総会	期 日	: 令和5年 5月25日
	場 所	: ホテル椿山荘東京（文京区）
	議 案	: ①令和4年度事業報告 ②令和4年度決算報告承認の件 ③理事選任の件

出席者 : 384名 (委任状・議決権行使書を含む)

**(2) 理事会 (定例会6回)**

第82回理事会 期 日 : 令和 5年 4月 12日  
第83回理事会 期 日 : 令和 5年 5月 9日  
第84回理事会 期 日 : 令和 5年 7月 12日  
第85回理事会 期 日 : 令和 5年 10月 10日  
第86回理事会 期 日 : 令和 6年 1月 17日  
第87回理事会 期 日 : 令和 6年 3月 13日

**(3) 常任理事会 (8回)**

令和5年 4月12日 4月25日 5月9日 7月12日 10月10日  
令和6年 1月17日 3月13日 3月26日

**(4) 協会事務運営**

**1) 会費の集金事務 (自動振替のすすめ)**

正会員会費の「預金口座振替制度」は以前から実施していたが、協会事務の効率化と請求書送料等通信運搬費の削減のため、原則預金口座からの自動引き落としとすることを令和元年7月の理事会で決定した。現在、82%の正会員が自動振替となっている。

**2) 会員への電子メールによる情報提供**

情報提供の迅速化、複数回の連絡による周知徹底等のために、電子メールによる情報提供を進めた。

国や東京都、(公社)全国産業資源循環連合会などから急ぎの調査依頼などもあるので、会員の多くにメールアドレスの登録をお願いすべく、7月に追加依頼をした。3月末現在でメールアドレスを登録いただいた正会員は69%、賛助会員は58%である。

**3) 決済性預金への変更**

協会の預金保護を図るため、2つの銀行の計4つの普通預金口座を決済性預金に変更する旨の届出を銀行に提出した(8月29日)。これにより約7割の預金が保護される。

## 5. 委員会・部会活動

### (1) 総務委員会

- ① 11月8日に委員会を開催した。各委員会及び部会に対して、令和6年度事業計画及び概算所要額調書を12月に提出するようお願いした。
- ② 3月26日に委員会を開催した。各委員会及び部会から、令和5年度の事業報告を受け、令和6年度の活動計画を話し合った。

### (2) 法制度検討委員会

- ① 5月16日、9月14日、12月7日、2月14日に委員会を開催した。
- ② 積替え保管業に関する議論の整理を行い、当該議論を終結した。
- ③ 第三者評価制度について議論し、4月からの制度の改正に提案が一定程度反映されたため、この議論を終結した。
- ④ 新たな検討テーマとして、「リチウムイオン電池の混入を防ぐための新法について」「家電リサイクル法の問題点について」「委託契約書簡素版について」「拘束時間削減に向けたドライバー交換方式運用時のマニフェスト記載について」「一般廃棄物を産業廃棄物処理業者が扱えるようにするための法改正について」の5課題に関しては今後も議論していくこととした。
- ⑤ 新たな検討テーマとして挙げられた5課題のうち、リチウムイオン電池の取り扱いに関して、勉強会と質疑応答を委員会内にて行った。
- ⑥ リチウムイオン電池混入対策については、都のモデル処理委託契約書の改正案に関する都との協議結果報告を行ったが、再度改正案を都に提出することとした。
- ⑦ その他4課題については、令和6年度に継続して検討することとなった。

### (3) 広報委員会

機関誌「とうきょうさんばい」の発刊

- ① 機関誌発刊のため、毎月1回（年12回）委員会を開催した。
- ② 法令関係等会員各位へ迅速にお知らせすべき事柄に注力した。
- ③ 協会主催の行事内容については詳細に伝達した。
- ④ 協会各役員の協会運営への方策活動について伝達した。
- ⑤ 資源循環情報等、会員各位の事業について積極的に紹介した。
- ⑥ 昨年度に引き続き、委員会の中で毎月SDGsの目標を一つずつ取り上げて行った意見交換について連載した。（目標6～16まで掲載）
- ⑦ 会員読者の誌面への参加を求めた。

#### (4) 安全衛生推進委員会

- ① 6月13日、11月14日、3月5日に委員会を開催した。
- ② 安全衛生研修会（2月9日）及び研修会のディレイ配信を行った（3月～）
- ③ 東京労働局との合同安全衛生パトロールを行った。（10月4日）
- ④ 安全衛生標語募集を行った。（8、9月。1月賀詞交歓会で表彰式を行った）
- ⑤ 協会名入り安全週間ポスターを会員各社に配布した。（5月）
- ⑥ ヒヤリハット事例を協会機関誌に毎号掲載した。
- ⑦ 当協会の令和5～7年度労働災害防止計画を定めた。（7月）
- ⑧ 安全衛生規程作成の講習会動画を作製・配信した。（2月）  
講師：青年部 部員（イーテラス株式会社）

#### (5) 収集運搬委員会

- ① 10月2日、12月22日、2月29日に委員会を開催した。
- ② 5月17日に「産業廃棄物収集運搬業のための採用設計セミナー」を  
経営者・人事採用担当者に向けて開催した。
- ③ 6月23日に、事故再発防止面談スキルアップをテーマとした  
「企業の交通リスクセミナー」（経営者・管理者向け）を開催した。
- ④ 7月28日に、安全運転習慣をテーマとした第2弾「企業の交通リスク  
セミナー」（実務担当者・ドライバー向け）を開催した。
- ⑤ 9月8日～9日に苫小牧CCS実証試験センターの施設見学会を開催した。

#### (6) 中間処理委員会

- ① 5月15日に委員会を開催した。
- ② 9月27日に「LCA勉強会」を開催した。会員企業はオンラインで参加。
- ③ 11月7日に㈱レゾナック（旧昭和電工）のケミカルリサイクル施設の見  
学会を開催した。（分科会含む）
- ④ 2月7日に「プラスチック資源循環に関する国内外の取り組み研修会」を  
開催した。
- ⑤ **破砕・圧縮分科会**では、6月27日にAI搭載機械メーカー3社を招き、  
開発状況と最新技術を学ぶ「AI ロボット勉強会」を開催した。会員企業は  
オンラインで参加。  
11月9日に賛助会員2社により電子契約の最新情報を学ぶとして「DXに  
関する勉強会」を開催した。会員企業はオンラインで参加。2月27日に  
分科会を開催し、次年度の活動内容を検討した。
- ⑥ **焼却分科会**では、7月25日にJFEエンジニアリングの施設を視察した。  
9月20日に分科会を開催し、最新情勢に関して意見交換を行った。

- ⑦ 中和・脱水分科会では、4月21日に分科会を開催し、令和5年度の活動を決定した。9月11日～12日に福岡県北九州市の3社の施設を見学した。12月5日に分科会を開催した。2月28日に「労働安全衛生法の新たな化学物質規制の対応とリスクアセスメントについて」オンラインセミナーを開催した。

#### (7) 建設廃棄物委員会

- ① 6月7日、2月5日に委員会を開催した。
- ② 10月26日に四団体施設見学会・意見交換会を開催した。視察先は(株)レゾナック（旧昭和電工）。都庁と四団体で意見交換会を行った。
- ③ 建設混合廃棄物分科会では、11月20日に外部会議室にて2024年度に働き方改革法が施行されることについて一都三県建設混合廃棄物意見交換会を開催した。（参加者41名）

#### (8) 医療廃棄物委員会

- ① 4月24日、8月3日、8月25日、1月22日に委員会を開催した。
- ② 医療関係機関等の排出事業者に対して、感染性廃棄物収納容器への危険物混入を防ぐことと8割の収納を目安にすることをお願いするリーフレットを作成し、東京都医師会・地区医師会・協会会員に配布した。また、東京都環境局と当協会のホームページに掲載した。（6月）
- ③ 8月3日に委員会内でBCP策定の勉強会を開催した。
- ④ 8月29日に、BCPについて無料で学ぶことができる事業について、正会員へ一斉送信メールで案内した。
- ⑤ 9月15日に静岡県が主催となり、東京・神奈川・静岡の医療廃棄物委員会・部会で一都二県医療廃棄物合同懇談会を開催し、コロナ後の感染性廃棄物の処理状況、燃料や資機材の高騰する中での処理費用の設定の考え方、感染性廃棄物処理マニュアルに基づく廃棄物管理について意見交換した。
- ⑥ 2月27日に目黒清掃工場と(株)日本シルバーの施設見学を実施した。

#### (9) 多摩支部

##### ① 多摩支部会・研修会

6月30日に多摩支部幹事会・支部会・講演会（演題：当社の安全活動について）・研修会を開催した。

##### ② 施設見学会

コミュニケーション委員会主催の施設見学会は、協会主催の国内処理施設見学研修会（10月13日～14日）として実施。

③ 多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会

2月16日に、多摩支部幹事会、多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課との適正処理意見交換会を開催した。

(10) 青年部

- ① 幹事会を4月27日、5月30日、6月28日、7月27日、9月25日、11月22日、12月15日、1月30日、2月26日、3月28日の計10回開催した。
- ② 5月30日に定時総会を開催した。また、合わせて勉強会を行った。
- ③ 8月26日に東京都内で出来る自然体験BBQを開催した。
- ④ 9月29・30日にマネジメント研修会を開催した。
- ⑤ 10月20日に青年部30周年記念式典を浅草ビューホテルにて開催した。
- ⑥ 1月30日に新春講演会・賀詞交歓会を開催した。

(11) 女性部

- ① 幹事会を4月20日、6月15日、7月20日、8月17日、9月21日、10月19日、11月16日、12月21日、1月23日、3月21日の計10回開催した。
- ② 6月15日に定時総会を開催した。
- ③ 5月18日・19日に横浜市鶴見区に位置するJ&T環境(株)グループ会社である「(株)バイオフーズリサイクル 横浜工場」、川崎市川崎区に位置する(株)東急ホテルズ「川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル」の施設見学会を実施した。
- ④ 7月20日にサーキュラーエコノミーとLCAの基礎について勉強会を開催した。
- ⑤ 10月19日に法律勉強会SNSのリスクマネジメントについて勉強会を開催した。
- ⑥ 12月21日に女性が活躍する産廃業界の現状と課題についての勉強会を開催した。
- ⑦ 2月15日～17日に奄美大島施設見学会を開催した。